



沼地開第 298 号
平成19年4月27日

国土交通省道路局長 様

沼田町長 西田篤正
(担当：地域開発課)



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願
います。

道路整備における中期計画作成にあたっての意見

◆重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 安全・安心な暮らしを確保する道路整備

①除排雪体制の強化

- ・中核病院への緊急搬送や通院、通学等に配慮した円滑で安全な冬季交通の確保
- ・観光地へ向かう道路への除排雪の充実

②通行止めの解消対策

- ・災害時のライフラインの確保
- ・単線での事故等による通行止めの解消対策（緊急搬送への備え）

③吹雪時の視界不良対策の推進

- ・夜間照明や自発光式スノーボールの設置推進等

④防犯に配慮した道路環境の整備

- ・道路照明の設置充実等

⑤景観や自然環境に配慮した道路整備

(2) 過疎化・少子高齢化社会に対応した道路整備

①高齢者や女性に配慮した道路整備

- ・公共交通網の廃止や縮小の中、移動は自動車に依存せざるを得ない状況。高齢者や女性ドライバーも多く、これらに配慮した道路整備の推進。

（バリアフリー化の推進、道路標識の工夫等）

(3) 道路交通ネットワークの整備充実

①高速交通体系の整備充実と幹線道路網の体系的な整備

- ・農産物の円滑な輸送による農業の振興
- ・救命医療体制の充実
- ・観光の振興
- ・企業誘致の促進
- ・地域産業の発展 等

(4) 拠点地区を設定した道路整備

- ・現在の道路整備は札幌に向かったの整備が中心であり、どうしても札幌1極集中になってしまっている。札幌1極集中を是正し、拠点を分散化させることが必要であり、道内の拠点都市を中心にいくつかの圏域に分け、地域格差のない均衡ある整備を図っていくことが必要。

(5) 地域事情にあった道路整備の充実

①全国一律でない地域事情を考慮した道路整備の充実

◆効率化を徹底的に進める上で特に優先度の高い政策

北海道は広域分散型社会にあり、道路整備にあたっては経済効果を重要視するのではなく、地域住民の安全で安心な生活を確保し、少子高齢化を迎える中で、道路整備において都市と格差のない、将来的にも地域が成り立っていくような基本的なインフラ整備は必要。

◆その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

(1) 高速道路割引制度の充実

- ・北海道は日本の食料供給基地であることを踏まえ、円滑な農産物輸送を図る上で、高速道路を利用した農産物輸送に対し、高速料金の割引制度を導入してはどうか。またこのことにより、高速道路の利用率の向上や企業誘致の促進も図られるのではないか。

(2) 維持管理面の強化

- ・維持管理面（除排雪・草刈等）の縮小傾向が見られる。このことは交通安全上の問題や住みやすさ、観光客のイメージに大きな影響を与えるため、強化が必要。

(3) 充実した道路整備による観光面へのPR強化

- ・本州とは違う広い道路で雄大な景色の中をドライブすることは、観光面での波及効果も大きい。シーニックバイウエイやビューポイントパーキング（とるば）とともに北海道をPRすることにより、道外からの観光客誘致に向け大きな影響を及ぼすと考えられる。

(4) 新たな雪処理体制の構築

- ・過疎化、少子高齢化が進む中、空き地や空き家も増加し、人力除雪の限界も見られることから、新たな除排雪方法を含む雪処理体制の構築が必要。
(町内数箇所での大型融雪槽の設置等)

(5) 各種地域振興プロジェクトと連動した道路整備

- ・各種地域振興プロジェクトを考慮し、それらと連動した道路整備の促進

(6) 除雪機械購入補助制度の弾力化

- ・除雪機械を新たに購入したくても、除雪延長がないと補助がつかないことから、補助制度の弾力的な運用。
(補助がつかないため、歩道除雪用ロータリーも1台しかない状況)

(7) その他

- ・歩道上の除排雪障害物(樹木・電柱等)の移設